



ここが気になる？セルフ・チェック

今回は、「心臓弁膜症」と「ネフローゼ症候群」です。

心臓には4つの弁があります。血液の逆流をおこさず、流れを一方向に保つことが心臓弁の役割です。胸に耳を押し当てたときに聞こえてくるドキドキという音は心臓弁の音です。この心臓弁の働きが悪くなった状態を「心臓弁膜症」と呼びます。症状はじわじわと進行していくので、自覚症状がない場合もあります。健診などで異常を指摘された場合には、循環器専門医を受診して下さい。「ネフローゼ症候群」とは、腎臓の障害によって、タンパクが、尿に漏れ出す状態をいいます。ネフローゼは、ギリシア語の「nephro(腎臓)」が語源のようです。古くから確認されており、紀元前400年頃のヒポクラテス(古代ギリシアの医師)の時代から知られています。尿にタンパクを含んだことで「尿が泡立つ」ことが記されています。現代では尿検査で尿蛋白の有無が正確にわかります。初期症状として目のまわりのむくみから見つかることもあります。気になる方は腎臓内科を受診して下さい。

健診センター 部長 田中督司

ネフローゼ症候群

食事は変わらないのに、最近、体重が増えていますか？

YES NO

以前、履いていた靴が履けなくなったり、きつくなってきていませんか？

YES NO

むくんでいると指摘されたことはありませんか？

YES NO

糖尿病といわれたことはありませんか？

YES NO



腎臓内科 部長 田中敬雄

ネフローゼ症候群とは、尿に大量の蛋白が漏れ出て、血中のタンパク質が低下し、むくみをきたす病気で、自覚症状は、ないことも多いです。

様々な原因がありますが、最も多いのは長年の糖尿病によってひきおこされる糖尿病性腎症という病気です。特に糖尿病になってから10年以上経過している人は要注意です。心不全や肝硬変症といった腎臓病以外でも身体がむくんできますが、ネフローゼ症候群の場合、尿検査で多量の蛋白が検出されます。チェック項目にあてはまったり、心配な方は、1度、尿検査をしてみて、異常が指摘されたら、腎臓内科にご相談下さい。

心臓弁膜症

動いたときに息切れしませんか

YES NO

足がむくみませんか

YES NO

心雑音があるとされたことはありませんか

YES NO



心臓血管外科 副部長 中桐啓太郎

心臓には、入り口と出口に逆流をふせぐための、膜(弁膜)があります。加齢や、様々な原因で、この膜が固くなったり、変形したりして、弁の狭窄(通り道が狭くなる)や、弁が閉まらなくなる(血液が逆流する)ことがあります。程度が強くなると、心臓の筋肉が通常通り収縮しても、血液を正常に送ることが出来なくなり、心不全を起こすことがあります。程度が軽い場合は、薬での治療が有効なことがあります。程度が強い場合は弁の手術が必要となることがあります。長期間放置すると、心臓の筋肉が障害されることがありますので、思い当たる方は、受診されることをお勧めします。